

平成 20 年 10 月 14 日

## 次期経営計画の経営委員会での議決を受けての会長コメント

日本放送協会会長 福地茂雄

NHKの平成 21 年度から 23 年度の次期経営計画「いつでも、どこでも、もっと身近にNHK」が、本日夕方、経営委員会で、経営委員から修正動議が出され、計画の内容の一部を修正した上で、賛成多数で議決されました。

経営委員会での議決を踏まえて、平成 21 年度からの3か年計画の実現をめざしていきます。

放送をめぐる環境が激変する本格的なデジタル時代に、公共放送NHKはどう進んでいくべきか。

それぞれの職場、若手職員の緊急プロジェクト、局長会議、役員討議、さまざまな場で真剣な議論を重ね、総がかりでまとめあげた、これからの3年間のNHKの針路を示す大切な経営計画です。

経営委員会との間でも、ことしの春から半年にわたって、方針や施策の細部に至る意見交換や議論を続けてきました。

私は、会長に就任以来、折に触れて「変える勇氣」と「変えない勇氣」ということを言ってきました。「すべては視聴者のみなさまのために」という公共放送の原点や放送の自主・自律、不偏不党などの理念や果たすべき使命は、変えてはなりません。しかし、変革の時代に、大切なものを守っていくためにも、そして、視聴者のみなさまにとって、もっと身近なNHKであるために、変えるべきことは大胆に変えていくことが必要です。

平成 23 年の地上テレビ放送の完全デジタル化と放送・通信の融合という、放送を取り巻く環境の大きな変化の波を乗り越えて、視聴者のみなさまから「これぞNHK」「さすがNHK」と言っていただけの、質の高い、豊かな放送・サービスを創り、届け続けるために、一丸となって改革を進めていきたいと考えています。

計画という「かたち」に「こころ」をこめ、職員一人ひとりが信念をもって、視聴者のみなさまにお約束したこの計画を確実に実行していくことが肝心です。この経営計画をもとに、年度ごとの事業計画を立て、着実に、謙虚に歩んでいくことで、公共放送NHKへの信頼を高め、視聴者のみなさまの身近なところで、お役に立ちたいと思います。